

# 学校だより

京都市立洛西中学校  
平成19年10月23日  
(第13号)

## 学校祭(文化の部も)大成功でした！

明けて、10月3日(水)、学校祭・文化の部が催されました。体育館では、生徒会文化委員会によるオープニングの後、合唱コンクールです。今年の合唱コンクールも、すばらしい圧巻の合唱コンクールだったのではないのでしょうか。

特に3年生は生徒数が24~25人ととても少なく心配していましたが、各学級とも素晴らしいできばえだったと思います。

昼食を挟んで、6・7組の劇「命の学級」です。

6・7組の二人の生徒がこんな文を書いてくれました。

### 文化の部6・7組の劇の紹介

この劇は、6・7組の生徒同士の絆を表した劇です。6・7組の4人は、個性的です。積極的な人、おとなしい人、入級したばかりで、さっそく進路にいどんでいる人、そしてみんな(先生も含む)のことを観察して、それを詩にする人。

私の詩を元に作ったので、この劇はノンフィクションです。みなさんのあまり知らない6・7組の様子をリアルに表しています。本当にあった話です。

### ストーリーの紹介

ぼくたちは4人とも、乗り越えられない壁がありました。(どんな壁か・・・は、劇に出てきます。)

それを乗り越えて、立派な社会人になれ、と先生は言います。でも、社会に出るといふのは、きびしいです。あまえられるのは、中学の間だけです。

ぼくたちが、力を合わせて社会に出でていく準備をしているようすをこの劇で見てほしいです。

みんな真剣に観賞していました。

続いて、吹奏楽部の演奏です。予定していた曲目の演奏が終わり、アンコールの大合唱。生徒のみんなが、先生や保護者のみなさんが、学校全体が1つになったような、瞬間でした。

エンディングに、生徒会の“ハンドダンス”。

時間のない中、練習に励んでいた成果が、見事に発揮されていました。

合唱コンクールの審査発表の後、各学年の最優秀クラスによるアンコール合唱で、今

年の学校祭も、「大成功」「大感動」という3文字を刻んで、幕を閉じました。

生徒会のみなさん、文化部のみなさん、合唱に取り組んだ各クラスのみなさん、皆さんの日頃の真摯な取組のおかげで、今年の学校祭も感動の連続でした。ありがとうございました。

#### 生徒会文化委員長

今年の文化の部は、大成功だったと思う。それは、各委員会やクラス、学校全体で練習や準備に取り組んできたからだと思う。みんな忙しい中でも、ちゃんと準備に来てくれ、文句を言いながらもやってくれた。

文化の部の当日、いすが並んでいて合唱コンクールのセットができていたのも、こういう人たちが汗を流してまでやってくれたことのおかげだと思う。文化委員長として、今回の文化の部が成功で終わったことをとてもうれしく思う。

文化委員は、夏休み前から取り組んでくれていて、文化の部が近づくとつれて毎日のように練習に励んでくれた。大勢の人達の協力のできた文化の部だから、委員長としても、3年生としても、心に強く残った思い出になった。



展示鑑賞や合唱コンクールの様子